

2021 4/27・5/11 合併号

No.2137・2138

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



横浜の春の風物詩「花壇展」が山下公園で5月5日まで開かれている。横浜市造園協会会員とJA横浜が丹精尽くした20区画の花壇が並ぶ。



視点点描	3
地域スポーツを守るには	
政治	4
激しさ増す「ポスト菅」の動き 選挙結果次第で“政局”に	
デモクラシーの現場から	8
一進一退の政権運営	
経済	10
豊かな未来社会への道筋とは 大阪市立大准教授・斎藤幸平氏	
アジアの風	13
「眉に唾」してかかれ	
暮らし2021	14
加齢で増える心房細動	
企業最前線	16
医療用ガウン、縫製工場を組織化 素材企業など“有事”に備え	
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページ（[www.kanagawa-seikon.jp](http://www.kanagawa-seikon.jp)）に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045（226）2121。

# 視点 点描



## 地域スポーツを守るには

けておこうとの約束を交わしているチームもあった。

おらが街に生涯スポーツがたくましく息づき、共助の関係がしっかり根付いている。そのことを確かめられたのは望外の収穫だった。

草の根の活動と言えば、甲子園で通算51勝を挙げた横浜高校野球部元監督の渡辺元智さんも、指導

の場を近所の公園に広げているそう。「こんなじいさんに教えられてもねえ」と自嘲気味に笑うが、キャッチボールに興じる少年らを散歩中に見掛けると、気付いたことをアドバイスし、優しく手ほどきしているという。

子どもたちに気付かれなくともさすがは名将、親御さんに驚かれることもしばしばだ。「野球に少しでも携わった人間として、できることをやろうとの思いです」。スポーツの楽しさ、野球の楽しさを少しでも多くの人にとりい姿勢

にはつくづく頭が下がる。

もちろん、スポーツを取り巻く状況が依然厳しいのは否めない。生涯スポーツを支える総合型地域スポーツクラブの多くが損失を抱えており、事業をストップしたケースも報告されている。およそ100ある県内クラブの大半も経営面で課題があると聞く。

だからこそ、こうした地道な活動が大事のように思う。コロナ影響下での選抜高校野球大会を制した東海大相模の門馬敬治監督が「相手がいてくれたからできた優勝」と謝意を示していたが、広い裾野があつての頂との思いから出てきた言葉に違いない。

世界で最も高い頂を争う4年に1度の祭典の開催はまだまだ不透明だが、裾野が広がってくれることを何より期待したい。

(神奈川県新聞社運動部長

下屋鋪 聡)

「仲間と顔を合わせられるのが一番。体を動かして汗をかいて、みんなで一杯飲む。あ、飲めるのはまだまだ先ですけどね」

先日、地域の女性らに親しまれる9人制バレーボール、いわゆる「ママさんバレー」の現場取材した。新型コロナウイルスが落とす影もさぞや大きろう。そんな思いで練習会場の小学校の体育館

に向いたが、選手から発せられたのが冒頭の言葉である。

トレーニング時間の短縮など制限を余儀なくされながら、明るい笑顔が絶えない。メンバーの子どもたちも練習に顔をのぞかせ、幅広い世代がコートに集う。仲間感染者が出て生活必需品に困るようなことになったら、玄関のドアノブに必要なものを袋に詰めて掛